



2022年2月7日

各位

会社名 株式会社立花エレクトック
 コード番号 8159 (東証第1部)
 代表者名 取締役社長 渡邊武雄
 問合せ先 執行役員管理部門担当兼経営戦略室長 松浦良典
 電話 (06) 6539-2718

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年10月25日に公表しました2022年3月期の業績予想及び2022年3月期の配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2022年3月期通期連結業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 183,000	百万円 5,250	百万円 5,800	百万円 4,000	円 158.49
今回修正予想 (B)	192,000	5,900	6,400	4,400	174.66
増減額 (B - A)	9,000	650	600	400	
増減率 (%)	4.9%	12.4%	10.3%	10.0%	
(参考) 前期実績 (2021年3月期)	161,440	4,033	4,388	3,457	136.99

(注) 当社は、2022年2月7日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づき、自己株式取得に係る事項を決議するとともに、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議しました。これにより、2022年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の消却等の影響を考慮して記載しています。

(2) 修正の理由

2022年3月期第3四半期連結業績につきましては、半導体製造装置や物流、空調機器などの分野を中心に好調に推移し、国内・海外ともに、当初の計画を上回る業績を達成できました。

第4四半期以降につきましても、長期化する半導体や電子部品の不足や原材料価格の高騰の影響はあるものの、一定の業績は確保できるものと予想し、通期の業績予想を上方修正いたします。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2021年10月25日発表)		28.00 (普通配当 28.00)	58.00 (普通配当 48.00) (記念配当 10.00)
今 回 修 正 予 想		30.00 (普通配当 30.00)	60.00 (普通配当 50.00) (記念配当 10.00)
当 期 実 績	30.00 (普通配当 20.00) (記念配当 10.00)		
前期実績 (2021年3月期)	17.00 (普通配当 17.00)	20.00 (普通配当 20.00)	37.00 (普通配当 37.00)

(2) 配当予想修正の理由

当社の剰余金の配当等の基本方針は、将来の経営環境の変化に対応できるよう財務体質の強化と事業拡大に必要な内部留保の充実を図りながら、株主の皆様に対しましては、安定配当をベースとして業績に裏付けられた適正な利益還元を努めていくことを基本としております。

この方針に基づき、今回公表の通期業績予想の修正を踏まえ、2022年3月期期末配当金につきましては、前回予想の28円に2円増配して1株当たり30円に修正いたします。これにより、修正後の年間配当金は1株当たり60円となります。

(注) 上記の予想は、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、実際の業績は今後の様々な要因により予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上